

下京アフターアワーズ

SHIMOGYO AFTER HOURS vol. 7

SDGs

～持続可能な未来のために、“自分ごと”のアクションをはじめよう～

「お金でなく精神面の豊かさに
幸せを感じたい」

「自らの暮らし」にその幸せを感じ、
考えさせられた経験から
仕事と暮らしの充実を
テーマに「家守業」としての
仕事をスタートさせました。



ゲスト
日下部 淑世 株式会社めい

「まあいいか」精神が少しずつでも
広まれば思いやりのある
社会になっていく
かもしれない

認知症の方たちが生き生きと働き、
「まちがってもまあいいか」と笑え
るような空間を一緒につくりたい。



注文を
まちがえひ
レストランテ
まあいいかlaboきょうと

ゲスト
平井 万紀子 まあいいかlaboきょうと 代表

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」と訳されます。
SDGsは“全ての人々が豊かで満たされた生活を享受できること”“誰ひとり置きざりにしないこと”を目指し、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットで、2030年までに世界の全ての国・地域が、その達成に向けて取り組むこととされています。
今回は、SDGsの実現に向けて、様々な社会課題を“自分ごと”としてとらえ、行動されているゲストの方をお招きします。
2030年、自分や社会はどうなっているかを想像し、身近なことからアクションを起こしませんか。

2019 3 | 20 水
19:00 - 21:00 開場 18:30～

会場
京都リサーチパーク内
KISTIC 2階「たまり場」
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134



入場無料 事前申込制



▶ ゲストプロフィール



平井 万紀子

ひらい まきこ

1964年京都生まれ京都育ち。好奇心旺盛で世界を旅しながら暮らすこととベストセラー作家を夢見る54歳主婦。

太陽のように明るく人気者だった母がある日認知症と診断される。

「まだまだ働きたい・自分は十分働ける」と思っている母のそばにいて、認知症と診断されている人が「介護やサービスを受ける」だけではなく、「働く」側で何かできないかと模索していたところ「注文をまちがえる料理店」に出会い、大きな感銘を受ける。

プロジェクトの発起人:小国士朗氏の協力のもと、2018年、大好きな街・京都のカフェや大学などで計5回「まあいいか@きょうとcafe」を開催。9月24日にはホテルグランヴィア京都にて「注文をまちがえるレストラン@きょうと」を開催した。

「pay it forward」(恩送り)の精神と「まあいいか」と受容し合える心を大切に、京都を軸とし、1万人の賛同者を募ることと、その活動を進めている途中。

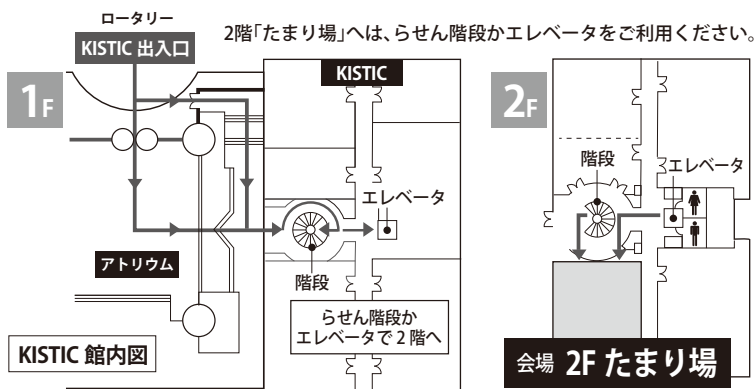


日下部 淑世

くさかべ としよ

1987年兵庫県生まれ。幼少期の画家である母の自死をきっかけに「お金と幸せ」「仕事と家族」の関係性とアーティストの存在に関心を持つ。芸術大学の多い京都への進学を選び、同志社大学経済学部でコンテンツ産業を学ぶ。大学卒業と同時に株式会社めいを共同創立。

若者が「好きなことを仕事にし仲間を見つける」実験のできる職住一体型シェア住居やエリア活性事業などといった、人口減少社会の日本を生きる世代に向けた不動産の企画運営を行っている。2016年世界経済フォーラム(ダボス会議)認定のグローバル・シェイパーズに選出される。長年思い描いていた、アーティストが24時間制作し販売できる住居兼宿泊施設「KAGANHOTEL(河岸ホテル)」を2019年秋より開始。



下京アフターアワーズ vol.7

SDGs

~持続可能な未来のために、「自分ごと」のアクションをはじめよう~

時間	内容
19:00	スタート、ウォーミングアップ
19:10 ~	ゲストによるプレゼンテーション
20:00 ~	ゲスト×参加者の交流会

※ 定員40名(事前申し込み制、先着順)

※ 託児あり(要予約、無料)

※ 参加申込み方法

3月18日(月)までに下京区役所
ウェブサイト内の専用フォームで

<http://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/page/0000205333.html>



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

ACCESS

京都リサーチパーク内 KISTIC 2階「たまり場」

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

■ 京都駅よりJR嵯峨野線(山陰線)2駅 丹波口駅下車 西へ徒歩5分

■ 市バス 73系統、75系統「京都リサーチパーク前」バス停留所下車 西へ徒歩5分

